映画『Feel/Unfeel　フィール／アンフィール―感覚過敏と感じない社会』

画像素材一覧

記事掲載用の画像素材です。ファイル名と内容は下記のとおりです。
※掲載の際は、作品タイトルおよび公開情報（2026年12月11日より全国順次公開）の併記をお願いいたします。
※画像のトリミング・加工は、原則としてお控えくださいますようお願いいたします。
※画像には著作権表示をお願い致します。
©2026 八艶合同会社・株式会社Innochi・感覚過敏研究所　または　©2026 八艶・Innochi・感覚過敏研究所



01_FeelUnfeel_Flyer_Omote.jpg

メインビジュアル（チラシ表）

JPEG / 2064 × 2908



02_FeelUnfeel_Flyer_Ura.jpg

チラシ裏

JPEG / 2064 × 2908



03_Web_titile.jpg

メインビジュアル（Web用 3:2）

JPEG / 1920 × 1280



04_Web_titile_HD.jpg

メインビジュアル（Web用 16:9）

JPEG / 1920 × 1080



05_FeelUnfeel_Poster.jpg

メインビジュアル（ポスター）

JPEG / 3000 × 4252



06_SensitiveChildren.jpg

「感覚過敏」の子どもたち（イメージ画像）

JPEG / 1920 × 1080



07_VisualSensitivity.jpg

視覚過敏で人よりもまぶしく感じる（イメージ画像）

JPEG / 1920 × 1080



08_AuditorySensitivity.jpg

聴覚過敏で人よりもうるさく感じる（イメージ画像）

JPEG / 1920 × 1080



09_Aya.jpg

知的障害をともなう自閉症（ASD）のアーティスト・花島愛弥さん。強い聴覚過敏と視覚過敏がある。感覚過敏を自ら表現できないことで、一時は「退行」となり、歩けなくなった。

JPEG / 1920 × 1080



10_Tomo.jpg

ともさんがADHDと診断されたのはごく最近のこと。子ども時代は障害を理解されず、親や学校から差別的な扱いをされて「死」と向き合うことも。元々あった感覚過敏がPTSDでより強くなった。

JPEG / 1920 × 1080

映画『Feel/Unfeel　フィール／アンフィール―感覚過敏と感じない社会』

画像素材一覧



11_Kato.jpg

加藤路瑛さんは多くの感覚過敏があるが、特に障害などの診断はされていない。子どもの時はその不快さが何か分からず苦労する。13歳で起業し、感覚過敏の啓発や研究に携わっている。

JPEG / 1920 × 1080



12_Nanami.jpg

ASD（自閉スペクトラム症）・軽度知的障害などの和田菜々美さん。強い視覚過敏と聴覚過敏で、外出時は帽子とイヤーマフが欠かせない。

JPEG / 1920 × 1080



13_Sato.jpg

佐藤太一郎さんは、脳梗塞により高次脳機能障害となり、「感覚」に大きな変化があった。「世界が多くの情報に囲まれている」ことを強く感じるようになった。

JPEG / 1920 × 1080



14_Yamase.jpg

山瀬健治さんはADHD・双極症（躁うつ病）で、感覚鈍麻の特性がある。ぶつけても気が付かない、熱さに気が付かないなどで、いつの間にか怪我をしていた子ども時代だった。

JPEG / 1920 × 1080



15_Yamashita.jpg

山下恵理さんは、多くの感覚過敏と感覚鈍麻が混じった特性がある。身体の右側は痛みを感じるが、左側はほとんど感じない。ASDの方の特徴である、きめ細やかな絵を描くアーティスト。

JPEG / 1920 × 1080



16_Marlene.jpg

南アフリカの看護師マーリーン・メイリングさん。聴覚過敏が強く、医療現場で働くのは困難がつきまとう。ノイズキャンセリングのヘッドホンなどで工夫している。

JPEG / 1920 × 1080



17_Takeda.jpg

長きに渡って特別支援教育や学習障害などの支援に携わる竹田契一先生。感覚過敏をはじめ障害にまつわる教育現場の課題について語る。

JPEG / 1920 × 1080



18_Mai.jpg

アメリカの臨床心理士で日系人の金田一舞衣先生。障害者の行動や人種の「見た目」による人々の偏見の問題などについて語る。

JPEG / 1920 × 1080



19_Amy.jpg

アメリカの臨床心理士エイミー・ウッド先生。アメリカにおけるメンタルヘルスに対する人々の捉え方の変化などを語る。

JPEG / 1920 × 1080



20_Naoko.jpg

アメリカの作業療法士・スバシュニック松田直子先生。感覚過敏の子どもたちに対処する学校作業療法を、日本にも広げようと努力している。

JPEG / 1920 × 1080



21_Chisae.jpg

ちさえさんの息子は聴覚過敏やミソフォニア（音嫌悪症）で、特定の音に強い拒否反応を示す。弟や妹の鼻歌やそしゃく音が苦手で、暴力的な言葉を発したりしてしまう。（画像は再現イメージで本人ではありません）

JPEG / 1920 × 1080



22_TomosMother.jpg

ともさんの母親は教師で、勉強が出来ず忘れものも多い息子を何とかしようと、感情的で強い教育を行なってしまった。本作のテーマに共感した帆純まひろが母親役を熱演している。

JPEG / 1920 × 1080

映画『Feel/Unfeel　フィール／アンフィール―感覚過敏と感じない社会』

画像素材一覧



23_NonhoiPark.jpg

花島愛弥さんを「退行」から救ったのは、飼い始めた犬と、動物園の動物たちだった。画像は愛知県豊橋市の「のんほいパーク」（豊橋総合動植物公園）。

JPEG / 1920 × 1080



24_Sahara.jpg

花島愛弥さんがきっかけで、豊橋市営の「のんほいパーク」は、全国で初めて「休園日入園許可制度」を導入。感覚過敏など障害のある人たちが休園日に入園できるようにした。画像は当時の豊橋市長・佐原光一さん。

JPEG / 1920 × 1080



25_Atlas.jpg

アメリカ・シアトルのジェニファー・コラーさんとマイク・コラーさん親子。障害のある人が自分の愛犬を補助犬（介助犬）としてトレーニングするサポートを行なう非営利団体を運営している。

JPEG / 1920 × 1080



26_Steve.jpg

スティーヴ・デトレイさんはPTSDで感覚過敏や不安症がある。愛犬のバラカは彼の発作を抑えたりするなど、とても大きな役目を果たしている。アメリカでは精神科介助犬が普及している。

JPEG / 1920 × 1080



27_Catchball.jpg

茨城県阿見町・美浦村で児童発達支援・放課後等デイサービスを行なう「キャッチボール」。障害のある子どもたちが馬の世話や乗馬によって、他者へのいたわりや思いやりを学ぶ。画像の馬は元競走馬のショパン。

JPEG / 1920 × 1080



28_Hanamaru.jpg

花島愛弥さんと元愛犬・花丸の印象的なツーショット。

JPEG / 1600 × 1200

お問い合わせ　八艶合同会社　映画『Feel/Unfeel』宣伝担当
上記にない素材（監督・出演者のスチール、ロゴデータなど）、法人メディア様向けのオンライン試写をご希望の場合は、弊社サイトのお問い合わせフォームよりご連絡ください。
お問い合わせ　https://hachien.com/contact
プレスキット　https://hachien.com/feel-unfeel
作品公式サイト　https://feel-unfeel.com